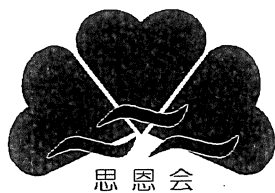


平成 30 年度

事業計画書



社会福祉法人**思恩会**

平成 30 年度 社会福祉法人思恩会 事業計画書

1. 基本理念

- (1) 思恩会は、創始者五十嵐喜廣翁が唱えた「愛の精神」と「思恩の心（親の恩・師の恩・社会の恩・自然の恩）」に基づき、子どもから高齢者まで豊かで安心した生活が送れるよう社会に貢献します。
- (2) 思恩会は民設民営として、篤志家・賛同者・地域社会の方々によって支援され発展してきた歴史と伝統を誇りとし、社会福祉向上のための使命と役割を果たします。

2. 基本方針

- (1) 子どもから高齢者まで包括的な福祉事業を運営する思恩会の使命として、利用者の生活が施設やサービスの中で完結することなく、地域住民との関係性を重視し、地域と共に運営する施設づくりを推進します。
- (2) 地域と共に歩む思恩会として、しおん荘地域包括支援センターを中心として、各施設・事業所を福祉拠点とした「思恩会包括ケアシステム」の構築のため、多様な関係機関、団体、住民との連携・協働により地域の福祉課題に取り組みます。
- (3) 社会福祉法人の使命として、低所得者の利用料の減免や生活困窮者の支援等、インフォーマルな生活課題や福祉需要に対応した「地域公益活動」を推進します。
- (4) 利用者の自己決定を尊重し、権利擁護を図るとともに、個人の尊厳に配慮した良質かつ安心・安全なサービスの提供に努めます。

3. 平成 30 年度重点事項

地域及び利用者の福祉ニーズに応え、良質なサービス提供を図るため、次に掲げる事業目標・事業計画を達成する。

(1) 法人運営

① 地域貢献の推進

「地域における公益的な活動」は社会福祉法人に課せられた基本的活動として、また法人の存在意義を示すものとして重要となっている。思恩会がこれまで長年にわたり培ってきた地域に信頼される法人運営を基盤として、各施設の持つ機能と特性、さらには地域性を十分に考慮しつつ、活動を最大化するよう努めていく。また、社会情勢の変化や経年により形骸化した活動について

は内容の見直しを行い、実効性の維持に努めていく。

② 老人福祉施設整備計画の推進

思恩会の老人福祉部門の方向性を決定づける重要な整備計画として位置づけられる湯野浜思恩園等移転新築計画は、用地選定の具体的作業を進める段階にさしかかっている。今後候補地について年度内の取得にむけて調整を行うとともに、設置施設の形態および内容について老人福祉部門全体の基本方針を整理決定した上で、今後の社会的情勢を勘案し計画策定を行っていく。

③ 地域小規模児童養護施設の開設準備

県内初の「地域小規模児童養護施設」として、平成31年度の開設を目指して進めているグループホーム新設は、山形県の社会的養護における施設養護のあり方に大きな影響を与えるものとして注目されている。今年度は予定されている賃貸物件の改修工事を県の設置要綱に従って進めるとともに、保護者、地域、児童相談所、市教育委員会などの関係機関と調整を図り、円滑な事業開始を目指し準備をすすめる。

④ 人材確保と定着

多くの業種で人手不足が叫ばれるなか、産業別新規求人数で突出した高い数値を示し人材不足が顕著となっている医療福祉分野にあって、選ばれる職場づくりは喫緊の問題としてますます重要となっている。様々な機会・媒体をとおして求人活動を活発に行うことはもちろんのこと、労働環境の整備を進め職員の定着に一層努める。

⑤ しおん荘地域包括支援センターの体制整備

鶴岡市が計画している地域包括支援センターの業務エリア再編に伴い、当センターもエリアを拡大する形でその再編に組み込まれることが内定している。また、センター内に生活支援コーディネーターの配置も予定されていることから、今後、鶴岡市、エリア地域および関係機関と協議を進め体制の整備を行う。

(2) 施設運営

① 地域包括及び居宅部門

- ・誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「思恩会福祉プラザ」「多機能かも」「しおん荘ショートステイセンター」「児童家庭支援センターシオン」の機能を強化し、福祉分野の垣根を越えた「思恩会包括ケアシステム」の構築を進める。
- ・総合事業の運用が開始されたことをうけ、「介護予防、生活支援、社会参加」を念頭に、居宅部門と地域活動の融合が展開されることをめざし、地域の関係機関との連携を深めていく。

② 七窪思恩園

- ・地域小規模児童養護施設開設にあたり、児童のグループ構成と職員の要員計画を具体化し、実地の生活訓練をとおして運営全般についての課題を把握して準備を進める。
- ・「山形県児童養護施設 被措置児童虐待防止マニュアル」を活用し職員教育を行うとともに、安全委員会方式により暴力問題へ組織的に対応していく。

③ 湯野浜思恩園

- ・施設移転新築について、鶴岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画に基づき、移転候補地の今年度中の取得を推進する。ただし、地権者との価格交渉や多くの行政手続等課題もあることから慎重に進めていく。
- ・第7期計画に向けた鶴岡市のヒアリングでは、小規模養護老人ホームと地域密着型介護老人福祉施設を中心に、幅広い福祉ニーズに対応できる複合施設の整備を要望したが、今後、介護人材不足や需要を考慮しながら、整備施設、施設形態、適正定員についての検討を重ねる。

④ しおん荘

- ・入所者および利用者の「日常生活動作」と「生活の質」の向上を図るためには、個々の情報の共有による「個別対応ケア」の実施が求められており、より正確な記録と伝達がその大切な要素となっている。その点を踏まえ支援体制全般の見直しを図りながら、科学的根拠に基づく介護の実践を行っていく。
- ・重度化する入居者および利用者の、健康状態や身体状況に応じた移動・移乗・ポジショニング等の介護技術の充実や、ロボット機器導入についての研修を行い、介護する側とされる側双方の安全を研究し実践していく。

4. 中期目標（平成28年度～30年度）：3年）

- (1) しおん荘地域包括支援センターを中心に、子どもから高齢者までの福祉をカバーする「思恩会包括ケアシステム」の構築。
- (2) ユニット型個室特養、小規模特養の検討。
- (3) 公益性に根差した事業活動を推進するために、安定的な財政基盤の確立。
- (4) 鶴岡市養護老人ホーム再編に向けた湯野浜思恩園の施設整備検討。
- (5) 児童福祉政策等の動向を把握しながら、地域小規模ケアの研究と、乳児院の今後の方向性を山形県と協議する。

5. 合同行事等予定

- (1) 思恩会後援会総会 (6月)
- (2) 合同追悼法要 (7月)

- (3) 合同夏祭り (7月) *湯野浜地区社会福祉協議会
 - ・湯野浜思恩園・しおん荘
 - ・福祉プラザ・多機能かも
- (4) 多機能かも夕涼み会 (8月)
- (5) 七窪思恩園夏祭り (8月)
- (6) 合同敬老の日祝会 (9月) *一日園長講演
- (7) 合同理事長杯争奪将棋大会 (9月) *湯野浜土曜会共催
- (8) 合同運動会 (10月)
- (9) 合同クリスマス祝会 (12月)
- (10) 合同新年会 (1月)
- (11) 七窪思恩園卒業就職入進学祝い会 (3月)
- (12) 役職員懇親会 (3月)
- (13) 各施設担当理事協議会 (概ね、年2～3回)
- (14) 各施設運営委員会 (概ね、年2～3回))
- (15) 多機能ゆのはま、多機能かも運営推進会議 (概ね2ヶ月に1回以上)
- (16) しおんのつどい (概ね、年2回))
- (17) しおん荘地域包括支援センター：地域ケアネットワーク会議、地域ケア個別会議、ぬくもり会食交流会
- (18) 随時：役職員視察研修、各施設家族会・施設運営委員会との合同視察研修、役員研修、苦情解決委員会